

令和3年中のストーカー及び配偶者暴力事案の取扱状況
について（確定値）

令和4年3月17日
人身安全対策課

1 ストーカー事案

(1) 取扱状況

ストーカー事案の認知件数は129件で、前年より13件(11.2%)増加した。
ストーカー規制法での検挙は11件で、前年より2件(22.2%)増加し、他法令検挙は10件で、前年より4件(66.6%)増加した。

	認知	規制法検挙	他法令検挙	警告	禁止命令
令和2年	116	9	6	17	11
令和3年	129	11	10	25	10
増減	13	2	4	8	△1

(2) 行為態様

つきまとい行為の態様は、1号(つきまとい等)が78件(40.4%)と最多で、次いで3号(義務なき要求)が46件(23.8%)となっている。

総数	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
193	78	17	46	16	27	3	5	1

※ 複数計上のため認知件数より多い

1号 つきまとい、待ち伏せ、押しかけ、見張り、うろつき	5号 無言電話、拒否後の連続電話・メール等
2号 監視していることの告知	6号 汚物等の送付
3号 面会、交際等義務ないことの要求	7号 名誉を害する行為
4号 粗野又は乱暴な言動	8号 性的羞恥心を害する行為

(3) 関係別

被害者と行為者の関係は、交際相手(元交際相手も含む)が40件(31.0%)、その他(SNSで知り合った、店員と客など)が31件(24.0%)となっている。

総数	配偶者	交際相手	友人知人	同僚	面識なし	職場関係者	その他	行為者不明
129	3	40	9	13	12	7	31	14

※ 配偶者と交際相手は元の関係も含む

(4) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、20代が39人(30.2%)、40代が32人(24.8%)、30代が28人(21.7%)となっている。
65歳以上の高齢被害者は6人(4.7%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
129	10	39	28	32	11	3	6

イ 行為者

行為者の年代別は、40代が30人(23.3%)、20代が21人(16.3%)、50代が20人(15.5%)となっている。
65歳以上の高齢行為者は14人(10.9%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上	行為者不明
129	4	21	16	30	20	10	14	14

2 配偶者暴力事案
(DV)

(1) 取扱状況

配偶者暴力(DV)事案の認知件数は315件で、前年より42件(11.8%)減少した。

DV防止法での検挙は1件で、前年より1件増加し、他法令検挙は12件で、前年より4件(50.0%)増加した。

	認知件数	DV防止法検挙	他法令検挙	保護命令
令和2年	357	0	8	13 (1)
令和3年	315	1	12	6 (0)
増減	△42	1	4	△7(△1)

()は他機関決定

(2) 関係別

被害者と加害者の関係は、婚姻関係が211件(67.0%)、同居型交際が59件(18.7%)、元婚姻が26件(8.3%)となっている。

総数	婚姻	内縁	同居型交際	元婚姻	元内縁	元同居型交際
315	211	13	59	26	1	5

(3) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、40代が84人(26.7%)、30代が73人(23.2%)、20代が60人(19.0%)となっている。

65歳以上の高齢被害者は、60人(19.0%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
315	3	60	73	84	30	5	60

イ 加害者

加害者の年代別は、30代が77人(24.4%)、40代が75人(23.8%)、20代が55人(17.5%)となっている。

65歳以上の高齢加害者は、62人(19.7%)となっている。

総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64歳	65歳以上
315	2	55	77	75	32	12	62